

日本語スピーチ発表会

日時:6月24日(金)1時限:9:00~10:30 / 2時限:11:10~12:40

場所:社会学部チャペル

司会:【1時限目】ムハンマド ザキ ルクマン (商学部)

【2時限目】ハワード クリストファー ジョングフン (メリーランド大学カレッジパーク校)

スピーチ発表会

1限(9:00~10:30)

	発表者	テーマ
1	ズヒリニア アウチ (バジャジャラン大学)	日本の生活
	オチ エリザベス エミコ (カリフォルニア・ポリテクニク州立大学)	
2	ソン ジャクカ (文学部)	日本人と曖昧さ
3	ベイカーサリヴァン アナベル ジェイン (マウント・アリソン大学)	留学生の経験
4	ソ ウンベ (経済学部)	日本の部活動について -良い点・悪い点-
5	ラーセン ウィリアム (オスロ大学)	外国人として困ったこと
	チン ユエン (国立台湾大学)	
6	カウス ルース (サティア・ワチャナ・キリスト教大学)	日本での初めての経験
	タリ ディー (バジャジャラン大学)	
7	リ ユウ (社会学部)	野良犬
8	デューラー ロバート シェイ (ネバダ大学ラスベガス校)	日本人の本音/ 日本人の建前
	ペネド セバスチアン マウリーシーオー (シドニー大学)	
9	キム ヒスン (人間福祉学部)	在日韓国人について
10	サンドヴィック ペッテル (オスロ大学)	デートしようか?— 日本人の曖昧な態度—
	デュラント ジョシュア ロバート (南キャロライナ大学)	
11	アルフォンソ エーベル アレクサンダー (メリーランド大学カレッジパーク校)	関西人になる方法
12	ゴ ミンジョン (国際学部)	日本に来て学んだこと

2限(11:10~12:40)

	発表者	テーマ
1	イ ジュンヒ (国際学部)	なぜ俺は日本におるのか
2	ファリナス シューナ ミキハラ (ロヨラ大学シカゴ校)	コンビニエンスストア
	コーモー アリクス グレイス (ガウチャー大学)	
3	モロコシ タケシ (社会学部)	朝食の大切さ
4	パホモヴス ドミトリス (ラトビア大学)	日本の強いおじいさんとおばあさん
5	ハイアム クレーグ オーエン (ヤングスタウン州立大学)	科学の年:明日へのステップ
6	シム ウクジン (文学部)	地震
7	リチャーズ ドミニク セバスチアン ベンジャミン (ロンドン大学東洋アフリカ学院)	わたしの日本での生活
8	リ イチゲン (社会学部)	日本の食文化
9	タン エイ (ノルマンディー・ビジネススクール)	日本の体験
	ファン ハイ タン ヴァン (ヴィアドリナ欧州大学)	
10	イ ジョンジェ (国際学部)	日本と私
11	ペノア モルガン ノラ (リヨン第2大学)	パンの伝説
12	キム ソンギョ (文学部)	夜の難波
13	カピト ケヴィン (デュッセルドルフ大学)	私たちの目の前にある美しい世界
14	アンダーソン アレックス ダビデ (アラバマ大学)	世界と話そう!
	フオンセッカー サンドバル エドガー アルマードー (西テキサスA&M大学)	



日本語スピーチ発表会に出場したことは、今まで自分が日本でしてきた経験を思いだして、これからの覚悟を固めるきっかけになりました。日本語で大勢の人の前で発表することは人生で初めての経験だったので、とても不安を言ったら、とてもわからず、最初は悩みました。でも、先生と友達の手伝ってくれて、自分なりにじっくり考え、いい発表になったと思います。私は日本では、韓国に住んでいたときとは違ういろいろな経験を留学生の前で、また、日本人学生の前で話せたことがうれしかったです。これからは、日本で非常に恵まれた貴重な経験をしたいです。また機会があれば、このように自分の話をたくさん人の前で伝えたいです。

発表者の声

国際学部2年
ゴ ミンジョンさん



ラーニングアシスタント募集!

日本語教育センターでは、学部留学生や交換学生の日本語クラスでLAを募集しています。アカデミック日本語のように学期を通じてのLAもありますが、1回だけ~数回だけのLAもあります。自分のスケジュールに合わせて、応募してみてください。

募集情報は教学WEBや日本語教育センターのHPのほか、CIECのメールマガジンでも知ることができます。留学関連の情報も合わせて知ることが出来ますから、ぜひ、CIECのメルマガ“Go Global!”に登録してください。

発行人: 関西学院大学 日本語教育センター
発行日: 2016年9月30日

アカデミック日本語の授業では、留学生と関わり合いながら、それぞれの国の文化についても触れることができている。グループでの話し合いの際には、留学生は日本についてのトピックを自分の国での経験を交えながら生き生きと話してくれました。留学生が積極的に楽しそうに話し合っている様子を見て、私も積極的に参加してよかったです。私にL.A.をしてよかったです。また、様々な国の留学生と話し合いを重ねていくなかで、お互いの国についての理解を深め合うことができた。同時に、私自身も日本についても一度考えるきっかけとなりました。授業を通して留学生と日本のことについて共に考え、学び合えたことが、そしてお互いにとって大きな経験になりました。



こんなふうにグループでディスカッションしました



2016年秋季学期も引き続きLAをしてもらえることになった木下さん

日本語学習コース (アカデミック日本語)

ラーニング・アシスタント(LA)
木下 陽子さん (教育学部)